

科目コード 126629a

配当学年 2・3・4

科目名 地域研究A

教員名 岡村 徹

【授業の到達目標】

- ・オセアニア島嶼国の文化に関する基本的な知識を身につけている。
- ・特にパプアニューギニアの文化を理解できるようになっている。
- ・日本とパプアニューギニアの関心に興味・関心を抱くようになっている。
- ・旧宗主国と島嶼国の関係が理解できるようになっている。

【授業のテーマ】

オセアニア島嶼国パプアニューギニアと日本

【授業概要】

パプアニューギニアの言語、歴史、社会、文化など様々な分野について知識を増やす。毎回授業の冒頭で、パプアニューギニアについての小話をする。そのうえで、言語を社会との関係で捉え、パプアニューギニア社会の諸問題を考える。最後に、ピジン語の文法と会話の学習を行ないながら、特定の言語現象について議論する。

【準備学習】

授業中に指示する書籍を事前に読んでおくこと。
毎回授業の最初に前回の授業内容に係るクイズを実施するので、復習をしておくこと。
次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。

【授業計画】

- 第1回：パプアニューギニアってどんな国なの？
- 第2回：パプアニューギニアの文化(1) 日常生活
- 第3回：パプアニューギニアの文化(2) トーテミズム
- 第4回：パプアニューギニアの文化(3) スポーツ
- 第5回：パプアニューギニアの文化(4) 料理
- 第6回：パプアニューギニアの文化(5) アイグリス
- 第7回：パプアニューギニアの文化(6) ワントク
- 第8回：パプアニューギニアの文化(7) イディオム
- 第9回：パプアニューギニアの社会問題 アルコール
- 第10回：パプアニューギニアの経済(1) コーヒー
- 第11回：パプアニューギニアの経済(2) 銅の採掘とブーゲンビル紛争
- 第12回：パプアニューギニアの歴史 ドイツとの関わり
- 第13回：パプアニューギニアの娯楽 動植物園
- 第14回：パプアニューギニアの政治 ソマレ首相の功績
- 第15回：到達度の確認

【評価方法】

- ・授業中の発言や質問の内容(20%)
- ・到達度の確認(50%)
- ・授業への参加態度(20%)
- ・授業中の提出物(10%)

【テキスト】

岡村徹『はじめてのピジン語』(三修社)
(テキスト ISBN) ISBN4-384-05308-8

【参考文献】

吉岡正徳ほか『南太平洋を知る事典』(明石書店)

【オフィスアワー】

適宜相談に応じるが、事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

適宜相談に応じるが、事前にアポイントを取ること。